



第 17 回日中韓 3 か国地方政府交流会議

(一財)自治体国際化協会交流支援部交流親善課

当会議は、歴史的、地理的にも密接な関係にある日本、中国、韓国の3か国地方政府間の国際交流・協力を一層促進することを目的に、3か国における地方政府の国際交流機関（日本・自治体国際化協会、中国・中国人民対外友好協会、韓国・全国市道知事協議会）が、1999年より輪番制にて毎年開催しているものです。今年度は10月12日から15日にわたり、中国浙江省義烏市において第17回目の会議が開催されました。当協会は協力機関として運営に携わっていることから、その内容について紹介します。

第 17 回会議について

今回の開催地である中国浙江省義烏市は、上海市から南西に約250km、杭州市から南へ約100km、内陸側に位置する県級市であり、世界的な日用品取引市場を有し、中国の一带一路構想の出発点として、鉄道でスペイン・マドリードまでつながっています。

10月13日の本会議は、「持続可能な都市間交流及び都市の国際化による発展」をメインテーマに、329名（日本…55名、中国…212名、韓国…62名）もの自治体関係者の参加のもと盛大に開催され、本会議後の10月14日～15日には、日用品取引市場や浙江省内企業、浙江省を代表する観光地などの視察が行われました。

主旨講演

はじめに、中国の学識者より一带一路構想の解説を中心とした基調講演が行われた後、3か国の代表地方政府によるメインテーマに沿った主旨講演が行われ、日本からは静岡県の大須賀淑郎副知事にご講演いただきました。中国浙江省と34年にわたる友好提携関係を結ぶ同県が、官民協同で取り組んできた東アジア地域との交流と地域外交の取り組みについて、そして世界文化遺産である富士山を核に、地域資源を活用した観光・経済・教育・文化交流の促進などについてもご発言をいただきました。

本会議の主なプログラム	
メインテーマ	持続可能な都市間交流及び都市の国際化による発展
	基調講演 中国国務院発展研究中心研究員 リンジャービン 林家彬
	主旨講演 日本 静岡県 副知事 大須賀淑郎 中国 浙江省義烏市 市長 ショウチュウピン 盛秋平 韓国 釜山広域市 行政副市長 チョングンジン 鄭京鎮
サブテーマ①	地方政府の役割強化による地元中小企業競争力向上への取り組み
	事例発表 日本 大分市 副市長 みぎたよしあき 右田芳明 佐賀県国際・観光部 副部長 むらやまひとし 村山仁志
	中国 浙江省経済・情報委員会 副主任 ユエヤン 岳陽 遼寧省外事弁 副主任 カオアイファ 高愛華
	韓国 テジョン 大田広域市大徳区 区庁長 パクスボム 朴壽範 キョンギドコヤン 京畿道高陽市 第2副市長 チェボンスン 崔鳳順
サブテーマ②	人的往来拡大による中日韓観光と文化交流の促進
	事例発表 日本 舞鶴市 市長 たたみりょうぞう 多々見良三 香川県交流推進部 理事兼次長 やまもとやすし 山本 泰
	中国 江西省外事弁 主任 チョウサイ 趙慧 陝西省 渭南 副市長 センゼン 王曉軍
	韓国 亀尾市 市長 ナムユジン 南洵鎮 キョンサンブクトウルチン 慶尙北道蔚珍郡 郡守 イムクワンウォン 林光元



静岡県 大須賀副知事による主旨講演の様子



事例発表

次に、メインテーマを掘り下げて討議することを目的に、2つのサブテーマごとに各国2つの自治体より事例発表をいただき、その内容に基づく意見交換が行われました。以下に日本側発表者の事例を紹介します。

サブテーマ①「地方政府の役割強化による地元中小企業競争力向上への取り組み」においては、大分市と佐賀県よりそれぞれの取り組みを紹介していただきました。

大分市からは右田芳明副市長より、同市と36年もの長きにわたる友好都市関係を結ぶ中国武漢市との交流を通じて、現地事務所を設置して行う企業への海外進出支援や、現地アンテナショップ運営などを通じた販路開拓支援といった事例について発表いただきました。

次に佐賀県からは国際・観光部の村山仁志副部長より、同県に多数残る徐福伝説の史跡から中国と古くより関わりが深いことを紹介され、友好関係を結ぶ韓国全羅南道、中国貴州省・遼寧省との交流や、瀋陽市・上海市・香港の3地域に設置された現地事務所を通じて行う企業への海外活動支援などについて、事例を発表していただきました。

サブテーマ②「人的往来拡大による中日韓観光と文化交流の促進」においては、舞鶴市と香川県より紹介していただきました。

舞鶴市からは多々見良三市長より、関西経済圏で日本海側唯一の国際貿易港を有する立地を活かして行う、物流・観光の日本海側窓口としての人的往来拡大への取り組みや、港町を特徴とした中国大連市、韓国浦項市、露国ナホトカ市、英国ポーツマス市との文化交流事例などについて発表していただきました。

最後に香川県からは交流推進部の山本泰理事兼次長より、3年に1度のトリエンナーレ形式で開催される瀬戸内国際芸術祭を核とした現代芸術や、四国遍路の巡礼文化などを情報発信することで海外からの旅行客を取り込

む活動事例に加え、提携21周年を迎えた中国陝西省との友好交流事例などについて発表していただきました。

会議では日本側と同様に中国側、韓国側からも事例発表が行われ、各国自治体の具体的な取組事例について地方政府関係者らが熱心に聞き入っていました。

また、本会議終了後には「交流の広場」が設けられ、各国地方政府間で既存の交流の拡大や発展に向けた意見交換や、新たな交流に向けた情報交換などが行われたほか、閉会式では次回開催地となる岡山市より繁定昭男副市長が登壇され、同市の紹介映像とともに次回会議への参加を呼びかけられました。



舞鶴市 多々見市長による事例発表の様子

まとめ

古くから相互往来が行われてきた日本・中国・韓国では、互いの文化や技術の影響を受けながら、ともに経済発展を遂げてきました。今回の会議は、そうした人的往来を持続的に維持する手段として、企業支援や文化・観光の促進が重要との認識の下、各自治体の戦略や事例、意見を述べる場になったと思います。

われわれは3か国の多くの自治体関係者が一堂に会して、国と国との関係を抜きに、地方政府同士で互いの課題を話し合えるこの貴重な機会を引き続き提供することにより、北東アジアにおける交流促進に寄与していきたいと考えています。

「第18回日中韓3か国地方政府交流会議」は岡山県岡山市にて開催されます

次回2016年度の会議は、10月に岡山県岡山市において開催されます。次回会議に関する情報は随時、当協会のホームページなどにてご案内します。

日中韓3か国の地域間交流と協力を深める絶好の機会であるこの会議に、ぜひご参加ください。